

MeiSeiZei

「Challenge! For Aozei Spirits」



To be continued...

SPRING 2010
No. 191

02・03—本会役員との懇談会 04—全青税シンポジウム／懇親会 08—名青税シンポジウム／懇親会 11—無料税金相談会
02・03—ディベート大会 06—名青税クリスマス会 10—ラジオ広報 12—INFORMATION

<http://www.meiseizei.gr.jp/>

名古屋税理士会役員との懇談会

日時：平成21年11月5日(木) 17時00分～18時45分 場所：ルブラ王山／カトレア



- 1.名古屋青年税理士連盟 会長挨拶 片山泰宏
- 2.岐阜青年税理士連盟 会長挨拶 清水 靖
- 3.名古屋税理士会 会長挨拶 小川令持

I. 税理士法改正について

名青税 日税連の税理士法改正プロジェクトチーム（以下PT）ではどのような項目が現在検討されていて、今後どのようなスケジュールで進んでいくのか。

名古屋会 PTの会議は、今まで4回開催。おおまかな案は固まった。平成21年3月の制度部のたたき台の意見を基に、10月末までに各単位会の会長より意見を受ける。11月25日の日税連の正副会长会に再上程し、了解をいただくよう進めている。その後、各単位会に公表して、当局との間で検討していく。まだまだ一年では済まないような感じがする。具体的な内容は諸々の問題がありまだ申し上げられない。

国民目線での議論をなすように進めている。

名青税 今回の税理士法改正では、青税として、資格取得制度の見直しと研修制度の義

務化の改正を是が非でも望むところです。PTが改正要望項目をまとめた後、各単位会や一般会員からの意見聴取はどのような流れで実施されるのか。

名古屋会 具体的には未確定。日税連の会報には載せず、各単位会の会報に載せる予定。

改正要望の基本姿勢は国民目線であることが大切で、その視点をもたないと改正に至らない。

名青税 平成23年の改正で進んでいるのか。

名古屋会 スムーズに行っても平成23年。政権も変わったので不確定なことが多い。基本路線に沿わないものもあるので柔軟に対応する。

名青税 公表から意見聴取の期間が短ううなので、意見として反映されないことを危惧する。

名古屋会 早く平成22年の春だと思うが、意見が多くてもまとまらない。多くの方が納得できるものでなくてはならず、何よりも国民目線で対処しなくてはいけない。

意見聴取して検討する期間は十分にある。議員立法はどうなるか不透明。

名青税 補助税理士、社員税理士、開業税

理士など税理士像がそれぞれによって異なる。今回の改正においてどのような税理士像を描いているのか。

名古屋会 税理士法1条が全てです。納税者目線で頑張っていただきたい。

II. 国民に対する「税理士」の広報活動について

名青税 税理士という職業が国民の中に浸透していない。もっと国民の中に入っていくなければならない。名青税はこの活動の一環として大学生とのディベート、ラジオ広報、無料税金相談会などを行っていく。税理士会としては、どのような広報を行っていくべきと考えるか。

名古屋会 日税連の平成21年度の事業活動として、対外広報を強化することになっている。国民への税理士制度の浸透は不十分であることは事実。国民から真に信頼されるようになるためには、広報は重要。今年度、名古屋会の広報は、メディア（新聞、ラジオ）を使った広報を実施。HPも随時更新、租税教室も積極的



第1回 税法ディベート大会

名古屋青年税理士連盟今年度のテーマ「Challenge! For Aozei Spirits」にふさわしい待望の新企画として設立以来悲願（…かな?）の企画が登場、現役大学生との交流企画、その名は「第1回 税法ディベート大会」(拍手!!)が平成21年12月12日(土)に、現役名城大学生VS名青税ディベートチームとで名城大学にて行われました。

このディベート大会は名青税会員が名城大学法学部伊川正樹准教授（租税法）に研修会の講師を依頼し、その後の勉強会などを経た後に実現したものです。

今回のディベートのテーマは2つです。

- 1.学校法人の理事長が高校の校長を退職し大学の学長に就任

したことによる退職一時金は退職所得か給与所得か？

2.いわゆる連担建築物設計制度による余剰容積率利用権移転の対価は譲渡所得か不動産所得か？

では…っと、その前にみなさん、先に言い訳をさせて下さい。今回の名青税ディベートチームは、ディベート自体を経験した人が余りいない集団です。私自身、言葉は聞いたことがあるが、「あるテーマについて議論する」位しか知らない全くの素人です。対する相手は、ディベートを通して租税法を勉強しており、年数回も他大学と大会を開いている強豪チームです。だからと言って、税理士の名をかけて学生なんかに負ける訳にはいきません。当日も、午後からの大会のため午前には事務局に集合し最終確認を行うほどの熱の入れようです。

まず第1回戦。「退職所得なるのか？それとも給与所得なのか？」

司会 鈴木会務検討委員長(名古屋青年税理士連盟)

名古屋税理士会

小川会長、櫻井副会長、田邊副会長、和田副会長
丹下副会長、高取副会長、久野副会長
大橋専務理事、西村専務理事、平総務部長

議事録作成者 江原総務副部長(名古屋青年税理士連盟)

岐阜青年税理士連盟

片山会長、磯野副会長、長尾副会長、安藤副会長、田中副会長
武山副会長、竹内総務部長、山田経理部長、江原総務副部長
林委員長、小関委員長、櫻井副委員長、鈴木委員長

に実施している。今後は税理士が教える租税教室を目指す。つまりは学校→税務署→税理士という流れではなく税理士会が直接行うことにより税理士をもっとPRする場面を作ることが重要。国民に対する税の認識と税理士に対する認識を深めてもらうことを重視している。税理士の特徴を活かした公益活動を行っている。具体的には外部監査、成年後見制度、非営利組織の支援を実施し、税理士の社会的地位の向上に繋げていきたい。

名青税 税理士の地位向上と言っても10年前に比べ変わっていない。他士業に遅れをとっている。

名古屋会 過去は対外広報など必要無かったが、これからは、国民に近くなるようにしなければならない。少しずつではあるが、広報活動の成果が実を結んでいる。税金の話だけではなく税理士PRと結びつけたい。

名青税 租税教室において「税理士の職業」を積極的にPRしていくという名古屋会の方向性には賛同する。名古屋会が行う講師

の養成講座においても「税理士のPR」の重要性をしっかりと伝えて欲しい。また、「税理士のPR」を意識した租税教室用の講義マニュアルを名古屋会で作成されることを要望する。

名古屋会 要望として検討したい。日税連の作成したパンフレットがあるので、こちらも参考になるだろう。

名青税 広報活動として、税務相談は有効と考えるが、独自事業としての税務支援の予定はあるのか。

名古屋会 確定申告期の税務支援は受託事業となっているが、税務相談所に重点を置き独自事業を進めていく。

III.懲戒処分事例の概要に関する情報公開について

岐阜青税 懲戒に関する内容の情報はあるのか否か。情報がある場合は公開できないのか。

名古屋会 会には情報は来ない。処分された本人に内容が行くため、本人の了解なしに情報は得られない。

公開に関して日税連が国税庁に依頼した結果、類型的形で資料提供の回答を得た。処分については公表されている。

IV.その他

名青税 電子申告推進委員会は、自分が所属する支部における懇親会を行った後、何も動きがないがどうなったのか。

名古屋会 役員改選期と重なり中断している節もあるが存続している。予算は増額しているが、使途を制限させていただく。来週に委員会を実施する予定。今後、電子申告推進を各会員一人一人にお願いし、掘り起こしに努める。

名青税 支部に任せた形なのか。

名古屋会 方向性を各支部に示し、支部の委員会を通して推進する。是非ともご協力願いたい。

閉会挨拶 鈴木会務検討委員長

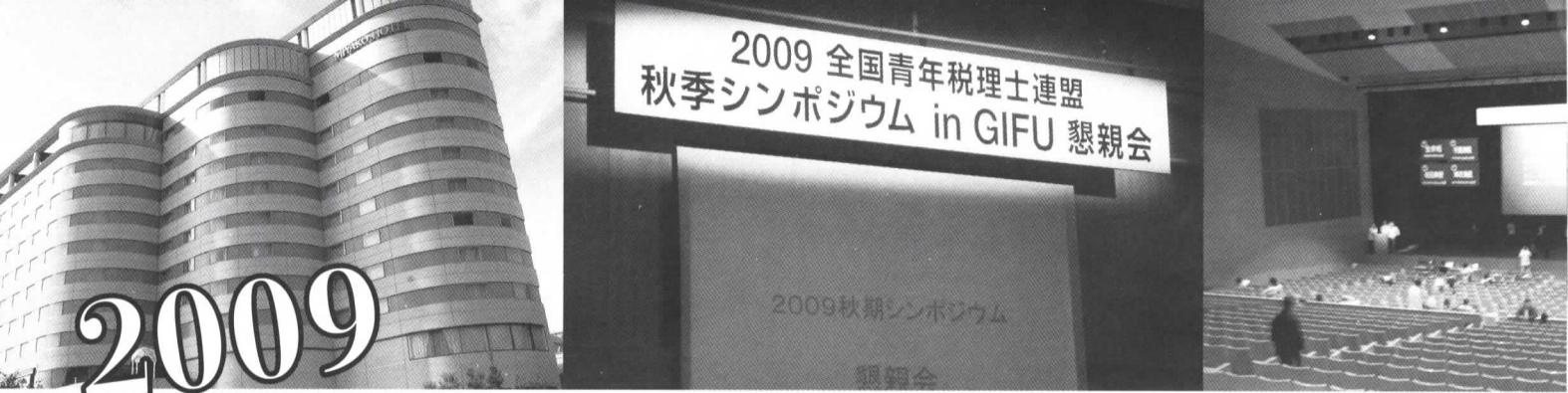
の議論については、さすが税理士です。実際の現場を知っているだけに、実力を如何なく發揮し、実務の実態を理論的に述べ見事に勝利!!

続いて第2回戦。「余剰容積率利用権」の議論について、実務上あまりなじみがありません。その上、伊川正樹准教授は、譲渡所得を専門に研究していることもあり苦戦を強いられました。さらに、勉強不足が露呈し、某N氏が暴走した揚句、議論するがことごとく返されてしまいボロボロ。結果は…予想通り…残念

大会終了後は会場をキャンパス内のラウンジに場所を移し、感想戦を兼ねた懇親会が行なわれました。そこにはしっかりとした意見を持つ現在の大学生があり、さらに勉強をしなければと思う税理士がいました。

中川支部 中垣吉晴





2009

全国青年税理士連盟 秋

平成21年11月14日 岐阜・長良川国際会議場(シンポジウム)

平成21年11月14日、岐阜・長良川国際会議場において開催されました全国青年税理士連盟シンポジウムに参加しました。今年の名古屋青年税理士連盟の発表テーマは「事業承継税制」であり、事業承継税制の適用を巡る中小企業経営者一族の葛藤と税理士の苦悩を描いた寸劇『先代からの呪縛』を発表しました。私自身、税理士役で寸劇に参加しまして、慣れない役目に戸惑うこともありましたが、全国の青税会員の皆様の前で発表するという、滅多にない経験をさせていただきました。

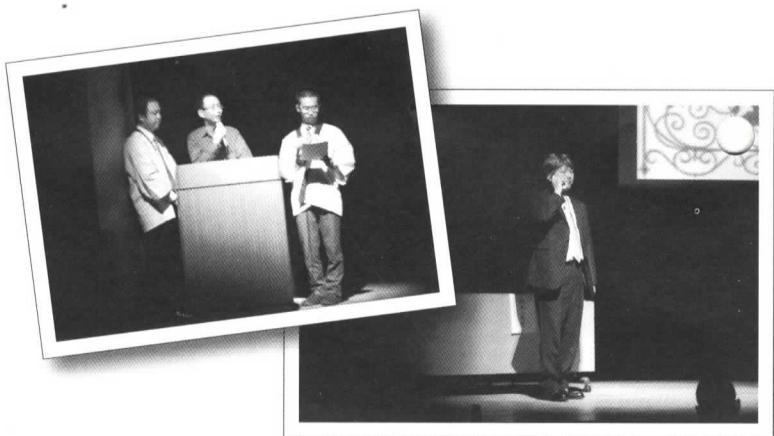
今年を振り返りますと、初夏から定期的に部会を重ね、事業承継税制について研究してきました。平成21年度の税制改正で導入された新しい制度ということで、実践例がないというハンディを背負いながら、理論編・実践編に分かれ、基礎から積極的に研究を行いました。

制度への理解が進むに連れて、この新しい事業承継税制は、非上場株式の相続による金銭的負担を和らげるという意味で事業承継関係者に有効な手段となり得る一方、手続の煩雑さ、納税猶予期限が確定するリスク、長期の適用期間など、受任する税理士には多大な専門家責任が生ずる可能性が見えてきました。そのため、この制度を広い視点で熟知し、適用した場合のメリット・デメリットを個々のクライアントに対して慎重に検討・提示していく姿勢が必要であろう、というメッセージを込めた発表を行うこととなり、分かり易く、楽しく見ていただるために、寸劇という形をとりました。

松田健研究部長がシナリオを、長尾副会長がパワーポイントを自ら作成して下さるなど、執行部の先生方の強力なリーダーシップに支えられ、寸劇の準備は順調に進みました。配役の皆さんには、私を含め、台詞を覚えることに苦労しましたが、本番では、客席の皆様方の温かい眼差しや笑い声に勇気づけられ、集中力が充実したのか、無事に演じきることができました。

私自身としてはほぼ予備知識なしで参加しましたので、部会での皆さんの議論に一方ならぬ刺激を受け、ずいぶん勉強になりました。税務に関する新しい知識を常に積極的な姿勢で吸収することの大切さを感じる全青シンポジウムでした。最後になりましたが、全青シンポジウムにご協力・ご指導いただきました会員の皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

西支部 松葉哲也





季シンポジウム in GIFU

岐阜都ホテル(懇親会)

全青税シンポジウムの懇親会について。

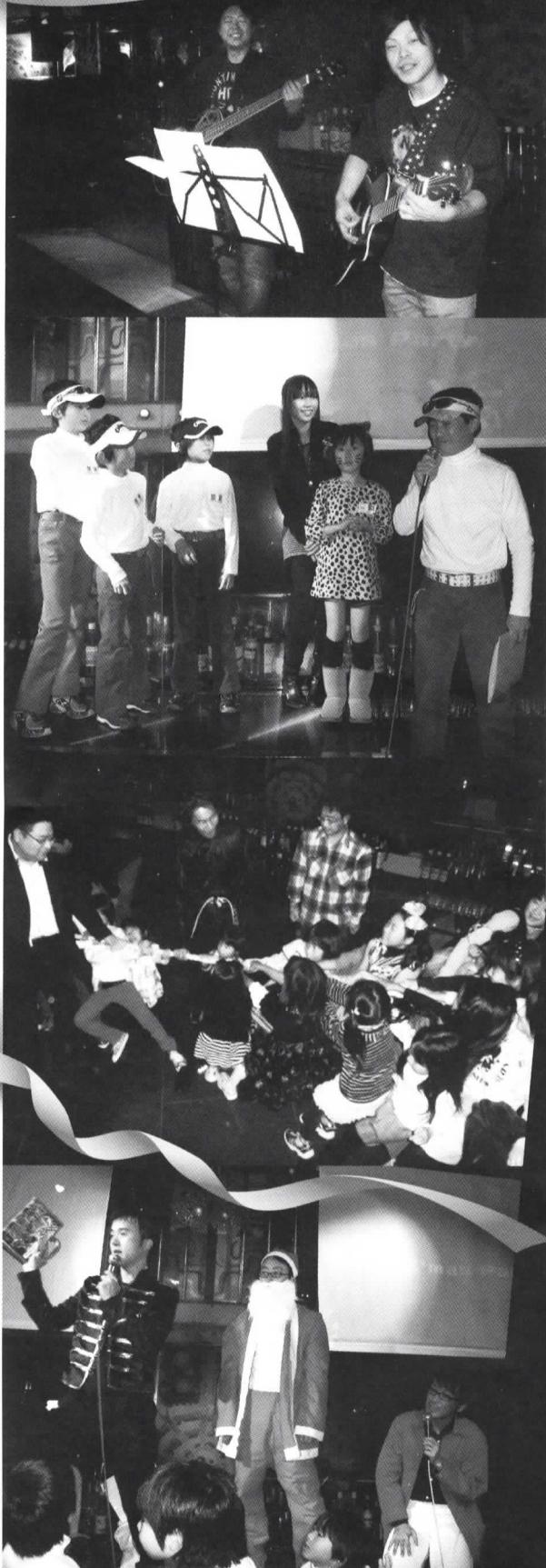
私は、今回初めて全青税のシンポジウムに参加させていただきました。そのシンポジウムでは全国の青税が集まり、どの青税も大変すばらしい発表で、特に名古屋青税は相続税の納税猶予制度について『華麗なる一族』の寸劇で発表されました。この名演技のあとに岐阜都ホテルで懇親会が行われました。懇親会は、「ウォーズパンズ??」という訳のわからないヒップホップダンスではじまり、その後に、坂田全青税会長のご挨拶があり、菅原前全青税会長の乾杯のご発声で懇親会がはじまりました。懇親会が始まると同時に行列のできたのは、岐阜名物の『アユの塩焼き』でした。先着200匹?ということで、大の大人たちが必死に群がっていました。そして、そのほかにも食べきれないほどのとても豪華な食事が出てきて、みなさんが料理を堪能していると、突然3人の女性のベリーダンスが始まりました。男性の会員の皆さんには、興奮状態、舞台に出て一緒に踊る方など大騒ぎでした。最後のアトラクションは、コーラー気飲み大会でした。優勝したのは会長連合チーム、準優勝は神奈川会、敗者復活優勝は名古屋会でした。シンポジウムの時とは違った雰囲気で大騒ぎの一日でした。最後に、全青税シンポジウムに関与されました会員の皆様、参加された皆様、本当に疲れさまでした。

熱田支部 伊藤 進



名青税クリスマス会

12月6日(日)
栄「アビーム2030」



12月6日(日)、栄「アビーム2030」にて「ようこそ繁忙期2009」と銘打たれた名青税クリスマス会が開催されました。私が青税に入会し初めてのクリスマス会参加。家族会へも初参加でした。会場に到着しますと、既に会員の方そのご家族が多数いらっしゃいました。その中で一家そろってのコスプレ姿。いったい何人?とにかくたくさんいた石川遼選手たち。かわいいお姫様もいまして…会場の熱気は徐々にヒートアップでした。「クリスマスプレゼント争(略)奪」企画や「家族対抗カラオケ合戦」「綱引き大会」「アイスキャンディーの早食い競争」…と子どもから大人まで楽しめる多くの企画で会場は大変盛り上りました。今回の会場は、ご存じの方も多いかと思いますが、「クラブ」(私たちが学生のころは「ディスコ?」)だった会場なので、音楽に合わせて踊る会員も多くいらっしゃいました。楽しい時間はあっという間に過ぎ終了となり、頂いた沢山のプレゼントを手に解散となりました。私も今回初参加しまして、家族に感想を聞いたところ、少し緊張感もありましたが、近くの席に座られたいいろいろな支部会員の方、ご家族と楽しくお話ができ、徐々にリラックスしてとても楽しくヒトキを過ごすことができました…ということです。最後になりましたが、企画・運営・進行と、厚生部の武山副会長、土屋部長はじめ厚生部の皆さん、ありがとうございました&お疲れさまでした。

中支部 烏居 翼

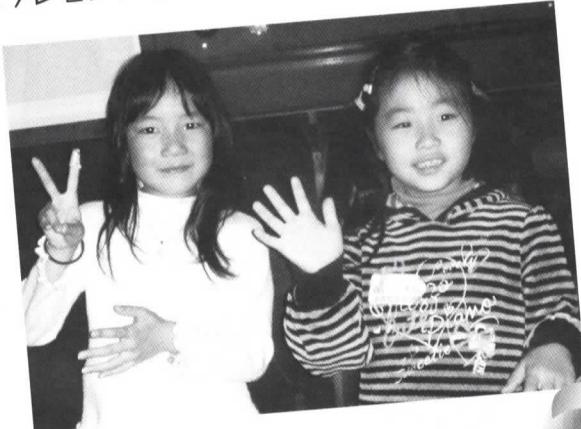


★★★★★★★★★★クリスマス会★★★★★★★★

わたしは、パパとママとおにいちゃんとクリスマス会に行きました。クリスマス会をした所が、ようとはぜんぜんちがつたので、びっくりしました!!クリスマス会では、わたしは里田まいちゃんの「もうすぐクリスマス」をカラオケで歌いました。歌っている時はみんながもりあげてくれたので、気持ち良く歌えました。わたしは、クリスマス会で“ももかちゃん”という一年生のお友だちができました。はじめてクリスマス会に行ったから心配だったけれど、すぐに友だちができたのでよかったです。

つな引きでは男の子に負けたからとてもくやしかったけれど、しょうひんがもらったのでよかったです。さい後にプレゼントをもらいました。わたしはシナモンのメモ帳、ノート、レターセット、シールがはいっていました。とてもかわいかつたので、うれしかったです。また、らい年もクリスマス会に行きたいです。

小学3年 片山由唯



●日時／平成22年1月23日 ●場所／名古屋税理士会ビル

名古屋青年税理士連盟シンポジウム



平成22年1月23日、名古屋青年税理士連盟シンポジウムが名古屋税理士会ビルにて開催されました。

今回のシンポジウムは、第1部が制度部による「税理士法改正」、第2部が研究部による「事業承継と相続税」をテーマに、それぞれの研究が発表されました。

第1部の制度部の発表は、チームが2つに分かれ、前半は登録区分チームにより補助税理士制度をめぐる問題が取り上げられました。現行補助税理士制度の解説と、この制度が抱える問題

点が説明され、最後に制度部の意見・考え方が述べられました。

制度の問題点を整理して聞くことで、補助税理士にあってはもちろんのこと、どの登録区分の税理士であっても無関係ではない、税理士全

体の問題であることを実感しました。

後半は試験制度チームによる新しい試験制度の提言です。1つの提言ごとに、会場参加者とのディスカッションが行われる形で進められ、時間が押す中、活発な議論が行われました。

今回、私はこの試験制度チームに参加させていただいたのですが、試験制度がどうあるべきかを考えることは、税理士の使命と役割を考えることでもあったので、今後税理士として仕事をしていくうえで、とてもいい勉強をさせていただいたと思っています。もっとも当日の発表では、言葉につまることがあり反省点も残りましたが…。

第2部の発表は、研究部による非上場株式における相続税・贈与税の納税猶予制度についてでした。前半は、納税猶予が適用されなくなる例が、パワーポイントと寸劇によってわかりやすく解説されました。後半はパネルディスカッション形式で、問題点の整理や対応策などが発表されました。

難しい内容をやさしく解説しているのが印象的でしたが、初めて知ることもあり、自分の勉強不足を痛感することになりました。新しい制度にどう対応していくか、もっと勉強しなければなりません。

振り返れば、昨年の6月から制度部の部会で税理士法の勉強を始め、今回名青シンポという場で発表させていただき、とても貴重な経験をすることができました。税理士法について、普段なかなか考えることがありませんが、これを機に理解を深めていきたいと思います。

北支部 宮島富久雄

名青税シンポジウム 懇親会

●日 時／平成22年1月23日
●場 所／唐渡屋

名青税シンポジウム終了後、中区アネックスビル内にある唐渡屋にて、懇親会が行われました。

今年の厚生部のお得意のパワーポイントを使い、面白楽しく、この一年間の名青税の活動を振り返ることができました。

その後、片山会長からこの一年を振り返り、様々なChallengeに会員皆さん協力してくれたことに対して、沢山の感謝の言葉が述べられ、皆充実した顔つきで聞き入っていました。

その後、各部からもこの一年の苦労話なども聞けて、本当にあつという間の一年だったということを感じました。

この後も、お酒を飲みながら、さらにこの一年の事を個々に語り合ったことは言うまでもありません。

まだ無料税金相談会が残っていますが、この1年が充実したものであったことを再認識できた懇親会でした。

西支部 大野治彦





ラジオ広報



今年度の"Challenge!"の1つ、名青税としては初の企画!「ラジオ広報」が行われました。番組名は「しゃちほこTAX」。放送は平成22年1月の毎週土曜日、午後1時半からの30分間、ラジオ局は名古屋のコミュニティFM局、MID-FM(76.1MHz)でした。

ラジオ番組の企画をするといつても、当然のことながら部員さんはラジオ経験など無い人ばかりでしたので、名青税の中の色々な方々に助言やら資料やら様々な協力してもらひながら進めました。

番組の形式として、DJにトークをリードしてもらいながら、名青税の会員が2~3人出演して税金の説明をするという、30分の番組を4回放送すると決め。DJには名青税会員でもあるDJ TAKさんに依頼し、各回のテーマが決まって…。ここまででもだいぶ部会の時間をつかってしまったのですが、台本を書くのがこれまた難しく、どうにも完成型がイメージできず苦戦していました。

こんな状況を打破できたのは、実は11月25日(水)の夜間に行われた「リハーサル」でした。リハーサルしたこと自体、ほとんどの会員に知られてないと思いますが、20時30分にラジオ局に集合し21時から2時間くらいでしたでしょうか、実際にラジオ局のブースでDJ TAKさんとともにリハーサルを行いました。

～ラジオ広報への感想・メッセージ～

名古屋青年税理士連盟 御中

確定申告については面倒なイメージがありましたがあ、ラジオを聞き、「比較的に簡単なのかな?」という感想を持つ事ができました。

説明も、とても分かりやすかったと思います。話しそうも聞きやすかったです。税金や確定申告と聞くだけで、難しいイメージを持つ方が多いかと思いますが、皆様方の努力で私のように「比較的に思いますが、簡単だな」と思える方が増えると良いですね☆

タイトルコールから、提供の紹介、そして実際のトーク、トークの区切りから、最後にまた提供の紹介。こういった流れを目の当たりにして、番組作りのイメージが湧き、また実際の収録日までの準備も明確になりました。それまでの部会では出来た台本の読み合わせをして、ストップウォッチで秒単位で時間を計ってみたりしていましたが、DJ自身がストップウォッチを確認しながらの収録では、そこまでの緻密な台本は必要ないんだなあ~、と感じました。

さて、そんなこんなで、実際の収録日を迎えました。12月19日(土)に第1・2回放送分の収録、1月16日(土)に第3・4回分の収録をしました。1日目の放送は片山会長の出演が決まっていましたが、何とこの日は「雪」。会長が参加できるか危惧しましたが、無事に全員集合し収録が完了しました。

収録では、期待通りにキチンと喋る方、期待以上に弾けた方、予想外に固くなってしまった方など、色々いましたが、実は一番かんだのは部長の私でした。私を含め13人の会員がラジオに出演し、色々と得るものが多くあった企画でした。苦労もありましたが楽しい経験でした。

いったいどんな感じの番組であったのか?名青税のHPから実際に聞くことができます。ちょうどアルバムのページに収録風景とともに載せてありますので、ぜひ一度お聞き下さい。

また、多数の方に助けていただいた企画でした、この紙面をかりまして感謝の気持ちを伝えたく思います。ありがとうございました。

千種支部 水野貴文

「税理士について」

(平成22年1月9日放送)

「確定申告について」

(平成22年1月16日放送)

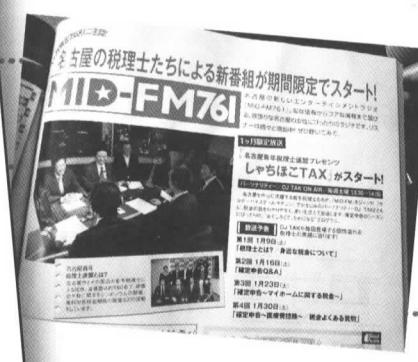
「確定申告～

マイホームに関する税金～」

(平成22年1月23日放送)

「確定申告～医療費控除等～」

(平成22年1月30日放送)



ラジオ広報は名青税ホームページよりダウンロードして聴く事ができます。

平成22年2月6日・7日に、名青税無料税金相談会がヨシヅヤ名古屋名西店で開催されました。

開催初日2月6日、前日の天気予報は「雪マーク」。そして当日の朝、カーテンを開けると雪が積もり、そしてまだ降り続いている。これは寒さも厳しいが、相談者の来場にも大きな影響が出るのではと大きな不安を胸に、いざ会場へ。初日は午前9時に入店許可証をもらい、薄暗い開店前の店内へと進みます。3年目ともなると会場の設営もスムーズに行われ、2階エスカレーター横に受付スペースと3組の相談ブースが完成。受付には相談者のニーズに応えるための申告書類も揃えられ、準備完了



了です。そして相談員の先生方も確定申告の手引きなどを用意し準備も万全です。あとは開店と同時になだれ込む相談者に備え、受付のデモンストレーションと会場整理のためのスタッフ打ち合わせです。

しかし、この天候のためか、予想以上に相談者数が伸びません。ここは片山会長も一緒に「相談会開催中」の必死のPR作戦。その効果もあり昼頃には最高の賑わいとなり、受付の机を使って2組分の臨時相談コーナーが増設されるほどでした。

開催日2日目の天候は晴れ、初日と同様に昼頃から多くの相談者が訪れ、受付終了時刻まで途絶えることがなく、相談員、執行部スタッフそして組織・広報部も一丸となっての対応となりました。その結果、初日は43組、2日目は52組の相談に応えることができました。

相談内容は医療費控除、株式や土地の譲渡、住宅ローン控除、市県民税、相続税そして、改正された配当所得の損益通算制度などなど、多岐にわたり相談を受けました。また、相談以外に申告書類の配布や確定申告会場のお知らせなどを多くの人に行うことができました。

今年も大成功を収めることができた無料税金相談会。ヨシヅヤ名古屋名西店様、各支部相談員の先生、名青税執行部、そしてご協力・応援を下さった会員員の皆様に心より御礼申し上げます。

西支部 田中聰一郎



無料税金相談会

平成22年2月6日・7日
ヨシヅヤ名古屋名西店

平成21年度無料税金相談会 アンケート集計結果

アンケート提出者数…84名

① あなたの性別と年代について

男性	女性	無回答				
36	45	3				
10代	20代	30代	40代	50代	60代～	無回答
0	8	20	7	13	32	4

② 今回の相談会をどのようにして知りましたか?

通りがかり	チラシ	ラジオ	無回答
71	2	1	10

③ 相談員の対応について

良い	普通	悪い	無回答
81	3		

④ 相談内容の回答に満足できましたか?

良い	普通	悪い	無回答
76	3	3	2

⑤ インターネットを利用したことがありますか?

はい	いいえ	無回答
26	42	5

⑥ インターネットを利用して申告書の作成をしようと思いますか?

思う	考え中	思わない	無回答
22	25	37	

⑦ このような相談会がありましたら、これからも利用しますか?

はい	いいえ	無回答
82	2	

⑧ "この相談会は『名古屋青年税理士連盟』が開催しました。このような団体があるのをご存知でしたか?"

はい	いいえ	無回答
24	60	

⑨ ご意見・ご感想

- 参考になった……………13
- 親切な対応だった……5
- もっとやって欲しい……3
- 無回答……………63

INFORMATION

第45回 定時総会

日 時：平成22年5月15日(土)

場 所：名古屋税理士会ビル

いよいよ新年度が始まります。

今年1年の活動を充実させるためにも

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

第45回 定時総会懇親会

日 時：平成22年5月15日(土)

場 所：ルブラ王山

新年度をむかえ、会員同士の親睦を深め新しい気持ちで

今年の目標を語り合いませんか？

理事 会 報 告

第7回理事会

日 時：平成21年10月13日(火)

場 所：名古屋都市センター

- 1.名青税シンポジウムの件
(研究部・制度部)
- 2.無料税金相談会の件
(組織・広報部)
- 3.会員・家族クリスマス会開催の件
新年会日程の件
(厚生部)

第8回理事会

日 時：平成21年11月17日(火)

場 所：名古屋都市センター

- 1.名青税シンポジウム懇親会開催の件
(厚生部)

第9回理事会

日 時：平成22年1月19日(火)

場 所：名古屋都市センター

- 1.「税理士法改正に関する
プロジェクトチームによるタタキ台」に
対する意見書提出の件
(総務部)

編集後記

まず、今年度最後の広報誌が無事に発行でき、正直ホッとしています。私自身、今まで名古屋青年税理士連盟の会員でありながら、行事には全く参加したことがありませんでした。そして、今年は組織・広報部副部長として、様々な行事に参加して色々な人に出会い、青税ならではの多くの事を経験することができました。片山会長が、今年度最初の広報誌の中で、青税は「ひと創り」と書かれていきました。私自身、組織・広報部の活動の中で、様々な人の助けをいただきました。写真撮

影をするにあたっては、ご迷惑にもかかわらず笑顔でこちらを向いていただいたり、あと原稿の依頼の時は、快く引き受けさせてもらったり、まさしく、この広報誌は「ひと創り」で作られていました。広報誌に関わっていました皆様、そして、広報誌の発行に携わってくださいました㈲眞清社様、本当にこの1年ありがとうございました。私にとって、とても有意義な一年間の「Challenge」でした。

大野 治彦